



## 10. 紹介・逆紹介

紹介数・逆紹介数とも 2014 年は 2013 年よりも若干数字が下がっている。初診患者数をはじめ、外来患者減が影響していると考えられる。全国民医連比較では、逆紹介率が比較的高い。これは当院では対応できない手術などの目的で他院に紹介した患者が確実に逆紹介で戻ってきていることを示している。

また、以前からリハビリ目的の逆紹介は多かったが、2014 年 10 月から回復期リハビリ病棟を開設したこともあって、更に増加している。反面、他の目的での紹介・逆紹介が減少していないか？検証が必要である。

